

平成27年度 生活介護事業所第2みらい
事業報告

【概況】

年度当初に生じた利用者への不適切対応を契機に事業所内及び中・長期計画でも掲げている「虐待防止の仕組みづくりの構築」の分科会で原因・対策について協議を進めてきました。分科会では人権意識の醸成をテーマに倫理綱領・行動規範の理解やモラルの向上などが改善点として挙げられ、虐待防止委員会設置に向けて準備を行っているところです。

次に、事業運営上の改善点を把握し、今後の福祉サービスの質を図ることを目的に中・長期計画実施項目である「福祉サービス第三者評価」を受審しました。

この受審は、職員にとっても貴重な経験となることから職員の研修機会と捉え、自己評価シートの作成等を通して、日頃の支援の在り方等について改めて考える機会になったと思います。

また、同様に実施項目である「支援懇話会」については小グループ化しているためグループごとに支援内容の説明や活動紹介を中心にご家族を対象に給食の試食会と併せ開催致しました。(延べ6日間)利用者の日頃の様子など意見交換も行うことができ、透明性の確保にも繋がったと思われまます。

体制面では2：1の体制を整備するため4名増員し、ほぼ安定した職員体制のもとでマニュアルの整備や連携の強化を行い、通常業務の見直しに努めてきましたが、年度末の退職者が多く、正規・非常勤のバランスや育成について課題を残した年となりました。

1. 利用者の状況は、当初49名でスタートし、9月末に入所施設への退所者が1名生じ、現在48名となっています。

出席率は93.2%（昨年92.5%）となっており、当初比較より1.8%程度低くなっています。これは肝炎治療に伴う週1回通所の利用者と週2・3日利用の利用者によるものです。

2. 作業支援については内職業者の撤退等により、収入が33万減少し利用者工賃の実績については利用者1人当たりの平均工賃月額は、1,648円で、前年度比507円の減となっています。

3. 生活支援面では、ケアホーム利用者が19名(39.6%)と多く、また、ご家族の介護負担などにより、入浴サービス利用、日中一時利用、特別送迎も依然ニーズが高い状況にあり、日中活動の中身にも柔軟な対応が求められています。

平均障害程度区分が高い(5.04)利用者支援に加え、高齢化への支援、ご家

族支援と支援内容は多岐に亘っているのが現状です。

こうした現状の中、支援員には質の向上が求められています。「個人の尊厳を守る質の高い支援」を目指し、介護技術の習得と利用者本位の支援に繋がるように外部研修の充実を図ってきましたが、結果として不適切な対応があったことは「支援の在り方」を見直す重要さを感じています。業務振り返りシートの導入などを通じ、まず、社会人としてのモラルの向上から、中身が伴った支援の実践に結びつくように支援者の育成を心がけていきたいと考えます。

以上が概略ですが、各項目の詳細については後述のとおりです。

1. 利用者の状況（平成28年3月31日現在）

(1) 在籍状況 男性 31人 女性 17人 合計 48人
 (平均年齢) 男性 39.32歳 女性 41.4歳 全体 40.1歳

(2) 推移状況（各月初値）582/552 年間在籍者数105%（人）出席率93.2%（人）

*平均年齢39歳1ヶ月（20歳から59歳）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	372
女性	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	210
合計	49	49	49	49	49	49	48	48	48	48	48	48	582

*利用者の異動

女性1名 他入所施設へ移行（9月末）

(3) 障害程度

①療育手帳（人）

程度	男性	女性	合計
A	31	16	47
B1	0	1	1
B2	0	0	0
合計	31	17	48

②身体障害者手帳（重複）

（人）

程度	男性	女性	合計	部 位
1級	2		2	肢体、内部
2級	1	1	2	肢体、平衡機能
3級	3		3	内部、言語等
4級	5	5	10	言語・そしゃく
合計	11	6	17	

③障害程度区分(平均障害程度区分 5.04)

程 度	男 性	女 性	合 計
3	0	1	1
4	5	5	10
5	17	6	23
6	9	5	14
合 計	31	17	48

2. 日課・週間プログラム

【日課】

午前		午後	
9:00～10:00	登所(時差)	13:30～14:20	作業
10:00～10:30	朝の会・体操・更衣等	14:20～15:00	掃除
10:30～12:00	作業	15:00～15:15	休憩
12:05～13:20	昼食・休憩	15:15～15:35	終わりの会
		15:45～	降所(時差)

*グループにより時間に若干の差異があります。

【週間プログラム】一例(個人により作業時間等プログラムは異なる)

	月	火	水	木	金	土・日
午 前	屋外活動	作業 陶芸	作業 公園清掃	作業 音楽療法	作業 織り	余暇支援 休み
午 後	作業 ウォーキング	文化クラブ	作業 ウォーキング	作業 機能向上プログラム	クラブ活動	余暇支援 休み

3. 職員体制

- (1) 職員体制 常勤職員： 管理者兼サービス管理責任者 (1)
生活支援員 (8) 事務職員 (1)
非常勤職員： 支援員補助 (17) 栄養士 (1) 医師 (1)
看護師 (1) 作業療法士 (1)

業者委託：送迎運転手（6）・送迎添乗員（2）
調理師（1）・調理員（2）

4. 建物・設備維持管理

{定期}

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
空調設備		15						7				
害虫駆除	16		18		17		15		17		18	
E V			23			1			22			22
自動扉	14			15			21			20		
消防設備			17						16			
電気		15		8		7		12		13		11
定期清掃					29						6	

*表中の数字は、実施日

【その他】

6月 17日 消火器交換

7月 2日 食堂クーラー水漏れ修理

8月 29日 2・3Fクーラー水漏れ修理、貯・受水槽清掃作業

9月 3日 飲料水水質検査

11月 7日 2・3F作業室床、剥離洗浄ワックス塗布作業

各階身障者トイレ 照明及び換気扇用手元スイッチ取付

ウオッシュレット取り換え工事（8箇所）

3月 4日 厨房冷蔵庫修理

*設備管理業者：株式会社ファシテック広洋

5. 車両管理・送迎管理等

【車両管理等】

	キャラバン	ステップ	赤ステップ	青ステップ	ハイゼット
6ヶ月点検	27年 7月	28年 1月	27年 8月	27年 9月	28年 1月
定期点検		27年 7月	28年 2月	28年 3月	27年 7月
車検	28年 1月				

【修繕等】

5月 25日 ステップ：バッテリー交換

7月 4日 ハイゼット：タイヤ交換

12月18日 キャラバン：フロントミラー交換

1月24日 キャラバン：タイヤ交換他

【車両事故】

- ① 12月22日 **赤ステップ**：送迎終了後、右折のため徐行中、左歩道より自転車が接触
- ② 2月18日 **青ステップ**：施設へバックで車庫入れ時、前方不注意により停車車両に接触
- ③ 3月14日 **ハイゼット**：バックで発進時左側の壁にバンパーを接触

*上記3件は、いずれも運転手の不注意によるもので、運転手への厳重注意ならびに、他の職員には事故報告書を供覧するとともに全職員を対象としての安全運転講習会を実施した。

【その他】

3月5日 日本財団福祉車両助成事業によりホンダステップワゴン1台納車
上記納車に伴い、旧ステップワゴン廃車

【送迎管理】

(1) 通常送迎

マイクロバス (23人乗り)：市内循環 (豊中南北部)・朝夕各1便

* (株)ジャパン・リリーフへ車両管理請負業務として委託

キャラバン (10人乗り)：市内循環 (豊中北部) (朝2便、夕1便)

青ステップ (8人乗り)：市内循環 (豊中北部) 朝夕各1便

赤ステップ (8人乗り)：市内循環 (豊中西部)・(豊中東部) 朝夕各2便

ステップ (8人乗り)：市内循環 (豊中西部) 朝夕各1便

* 添乗業務については車中の状態把握のため支援員が各車両行った。

* 行事の際には特別ルート及び時刻表に基づき運行した。その他、諸事情による乗降場所の変更などにも柔軟に対応を行った。

(2) 特別送迎・(ショート送迎)

通常送迎とは異なり、歯科の通院などが対象

利用延べ回数 214回 (前年比 94.3%)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
歯科送迎他	14	13	24	17	13	18	27	21	15	17	18	17
ショート利用回数	86	40	69	56	25	43	56	47	61	36	46	56
合計	100	53	93	73	38	61	83	68	76	53	64	73

前年度と比較し、歯科送迎については「あしすと」利用によるご家族の負担軽減から、利用回数が安定、(前年度比 94.3%、利用回数 13 回減)、利用者の定期的な健診が可能となり、支援センターの存在の重要性を再確認でき、利用者にとっても有意義であったと思われます。

ショート送迎（通常送迎）についてはケアホーム利用者が約 4 割であるが、緊急時の利用のニーズは高く、増加(828→835、101%・月平均送迎回数 70 回)し、介護者の高齢化及び利用者の将来生活についての不安が非常に高いことを示しています。

6. 年行事等

月. 日	行 事 名	行先・場所	参加人数	特記事項等
4. 23	班行事(3 階)	鶴見緑地公園	1 9	
30	班行事(2 階)	万博公園	2 6	
5. 28	味覚狩り	川西イチゴ狩り	4 7	
5. 30	選択余暇(土)	映画	5	
6. 17	グループ行事	神戸北イオンモール	1 0	プール
18		神戸海洋博物館	7	
22		グランフロント大阪	6	
22		リゾ鳴尾浜	4	
24		神戸動物王国	4	
25		キッズプラザ	8	
29		バンドー神戸青少年科学館	8	
7. 4	選択余暇(土)	ボウリング	8	ラウンドワン
10	クラブ行事	アミティ舞洲	1 3	プール
17		五月山公園	7	華道
24		リゾ鳴尾浜	1 0	プール
		海遊館	3	軽スポーツ
31		勝部センター&カラオケ	1 4	リズム体操
8. 5~20	納涼祭	多目的室	4 9	各Gで実施
9. 3~ 4	一泊旅行	神戸しあわせの村	4 4	
10. 9	第 9 回合同運動会	豊島体育館	4 5	
10. 17	とよっぴー祭り	リサイクルプラザ	3 7	※内容変更
10. 31	選択余暇(土)	バーベキュー	1 5	六甲山牧場他
11. 7	選択余暇(土)	遊園地	6	枚方パーク
		イルミネーション	4	大阪空港
		阪急電車の旅	5	スタンプラリー

11. 21	農業祭	豊島公園	3 6	
12. 18	クリスマス会	第2みらい・いぶき	4 5	
1. 29	第10回文化祭	第2みらい いぶき	4 5	テーマ「TRY～ステキな笑顔を狙いうち～」 事前チラシ200部の配布。出演団体含め外部より25名来所
3. 5	ボランティアフェス	すこやかプラザ	3 2	※内容変更
3. 24～31	慰労会	多目的室	4 8	各Gで実施

支援懇話会（中・長期計画実施項目）

回	月・日	グループ名	参加人数	回	月・日	グループ名	参加人数
1	8. 26	2階-1	9人	4	11. 30	3階-A	4人
2	9. 24	3階-C	7人	5	12. 16	2階-2	4人
3	10. 28	3階-B	5人	6	2. 24	2階-3	10人

日々の活動に変化をもたせ季節の行事を企画・実行しました。余暇支援では豊中市の啓発イベント等に参加し交流を深めました。また、地域交流が深まっている実情を鑑み、「みどりの交流会」が後援している地域交流行事（とよっぴ一祭り・農業祭に参加しています。選択余暇では選択により少人数で休日を楽しみました。内容は6つの中から自己選択・決定の機会を持ったため、日頃のグループメンバー以外での活動となり、自主性を尊重する意味でも意義のある企画であり、今後も継続するが、内容については随時ニーズを見直しして実行していきたいと考えます。

7. クラブ活動等

(1) 開催内容

金曜クラブ（6種目）

- ・ リズム体操：月2回、講師：辻村恵美子
- ・ 音楽：月2回、講師：なし
- ・ 茶道：月2回、講師：関口佳子
- ・ 華道：月2回、講師：高橋美智代
- ・ プール：月2回、講師：なし
- ・ 軽スポーツ：月2回、講師：なし

火曜クラブ（4種目）

- ・ 七宝焼き：月4回、講師：なし
- ・ 織り：月4回、講師：なし
- ・ クラフト：月4回、講師：なし
- ・ 園芸：月4回、講師：なし

その他の活動

- ・ 音楽療法：月1回(第3木)、講師：佐藤信子

(2) 障害者青年教室の活用

豊中市教育委員会の補助制度を活用。趣旨は生涯学習の視点から障害のある青年が常に生きる喜びを持ち、社会的教養の向上と自主性・社会性の養成を図ることが目的。1講座3千円を補助。

補助対象2活動実績 陶芸作業 39回180人、
リズム体操 23回391人

8. 健康管理・給食

[健康管理]

- ・健康相談：月2回、希望者が嘱託医へ相談。ご家族同席2名が受診。その他毎月5名の利用者が受診。相談を受けた内容は連絡帳を通して、家族に報告。
- ・健康診断：6月に山口記念診療所で利用者46名が受診。希望に応じて聴力・視力の検査も併せて実施した。
- ・予防接種：10～11月に山口記念診療所にて39名が受診。

[給食]

- ・委託業者：ナフス(株)へ給食調理業務を委託
- ・給食会議：月1回、委託業者・管理栄養士・法人職員が参加し、毎月の献立について検食簿に基づき意見の交換と確認を行いました。
- ・嗜好調査：年2回実施(8月及び1月)
調査結果を給食の献立や肥満対策に反映するように努めました。
- ・試食会：ご家族を対象に支援懇話会時実施しました。

9. 防災

回	月・日	内 容	参加人数	備 考
1	4. 13	避難訓練(火災)	17人	消火器訓練
2	12. 25	避難誘導訓練(火災)	73人	避難誘導訓練
3	2. 3	避難誘導訓練(地震)	75人	総合訓練・DVD鑑賞
4	3.15	消化訓練	6人	消火器訓練

- ・非常災害対策として火災・地震を想定した避難訓練を行った。特に総合訓練では施設における避難訓練の位置づけだけでなく、職員へは火災を想定できるようにDVD鑑賞(施設での避難誘導)運搬の講習・消火器訓練を行い、危機管理意識の向上に努めました。

10. 活動支援の取組み

第2みらいの運営方針、支援方針に基づき27年度の支援を次の通り行いました。

- ①個別支援計画を基に日常生活上必要な介護、支援、相談、助言を支援の中心においた。スケジュールについては自己選択の機会として面談時に個別で目的を共有し、活動内容を実施しました。
- ②障害特性、ニーズに基づいた小グループ化（8グループ）を図り、より個々に適したプログラムを提供できるように環境整備に取り組み、情緒面の安定に繋がってきました。
- ③作業療法士の訪問回数を増加し、身体機能の低下を防ぎ、運動機能の維持・向上に努めるためのプログラムの充実を目的に機能訓練を行いました。
- ④高齢化に伴う支援としてデイサービス事業所との交流を月1回定期的に行いました。（後期より事業所閉鎖のため中断）また、介助者の負担軽減のため入浴サービスを引き続き実施しています。

（1）作業支援

個別支援計画に基づき生活支援に主眼を置いているが、利用者のエンパワメントを高める観点から、利用者が興味がある好きな作業行程を模索し、今年度も新規の取引先を開拓（1社）したが、内職業者の倒産（2箇所）により作業収入は減少しています。（前年比77%・予算比105%）

屋内作業

「ガードロック」鍵の部品の袋入れ

「ヒノモト商会」ねじ部品の袋詰め

「豊中市障害福祉課」刻印作業

「新谷製作所」バリ取り

年間約26万（前年度比▲12万）

屋外作業

公園清掃（豊中市から委託）農園、アルミ缶回収・つぶし、納品、洗車

年間約77万（前年度比▲13万）

自主製品

陶芸品、ミシン作業他13万（前年度比▲8万）

全体

作業収入 約114万（昨年70%）

（内訳アルミ缶収入34% 刻印18% その他軽作業9%）

（2）生活支援

自立に向けた日常生活のスキルの向上を図る

ケアホームから通所される方が 19 名、約 39%、居住の場との連携をとりつつ、自立を促す支援を心がけました。特に排便・入浴の状態把握に努め、家庭・ホームとの連絡ノートを通じて体調・衛生の把握・維持・保持に努めました。

入浴サービス

介護者の高齢化に伴う介護負担の軽減及び利用者のニーズの高揚のため、週 2 回 1 回 3 人を限度に私的契約による入浴サービスを行いました。(27 年度利用者 延べ 35 人月平均 2.9 人前年度比 35%) 利用料 1 回 100 円は個人負担とした。ホーム利用者の増加に伴い、対象者は減少しています。今後についてはヘルパーの活用等により、対象者も限定されると考えます。

日中一時支援

家族の冠婚葬祭や急な外出で所定の時間に送迎することが困難な場合、時間を延長して支援した。入浴サービス、外食、特別送迎の提供で緊急時は家族支援にできる範囲で応えました。利用料は利用者の個人負担(7時30分～8時45分、16時30分以降より30分単位、650円)としています。27年度利用者延べ29名、89.5時間。前年比86%)あしすとの活用により利用者は減ってきているが、介護者の高齢化から、緊急時のニーズが高いため、昨年度とほぼ同様に推移しています。

11. 広報・地域活動・実習

(1) 広報関係

【広報つばみの発行】

第2みらいの活動をご家族はもとより、広く関係機関や関係者に理解して頂くために、年2回発行しました。

	号	発行日	部数
1	第20号	6.26	400
2	21	1.8	400

(2) 地域活動として近隣の学校、福祉施設、障害者団体等との交流を図りながら、豊中市啓発活動委員会の企画・運営に参画しています(素のままフェスタ)。また、豊中市みどりの交流会活動の運営・企画に積極的に参加(月1回定例他)し、園芸の育苗活動をともに行う中で各地域との連携を図りました。

(3) 実習関係

啓発・人材育成・施設サービスの客観性を判断するため実習の受け入れを実施し、前年度に比して約60%となっています。

所属団体	実習目的	人数	日数
一般（問い合わせ）	ボランティア	1	8
大阪保健福祉専門学校	介護施設実習	2	10
2 団体		3	28

12. 苦情解決

施設運営及び事業実施に関する苦情等を調整・解決する窓口として苦情受付担当者を1名配置。苦情は意見箱をはじめ家族会の場や連絡帳等でも受け付けています。利用者、ご家族は日々の連絡帳により施設への意見、要望を伝えていただき、その都度個々及び家族会での報告・掲示板での公表などにより対応してきました。

*第三者委員会：平成28年2月24日(水)14:00～

申請者	苦情内容趣旨	対応
家族	利用者が右臀部下にアザがあった。状況を知りたい。	前日にショートステイを利用されており、連携をとり原因究明にあたったが、特定出来なかった。机やイスなどに接触した可能性も説明し、ご家族へは、了承頂いたが、把握強化に努めることを全体で確認。
家族	文化祭時利用者把握をしている職員がスマホを操作していた。把握漏れにつながるのでは？	所持の全面禁止も協議したが、緊急時使用の場合もあるため私用の配慮を行う事で再度全体周知した。利用者支援を第一にモラルの向上につとめていくことを家族会で報告し、掲示板で公表を行った。

13. 職員研修・会議等

【職員研修】

- ・事業計画に基づき、利用者支援関連を中心に人権関係まで幅広い分野を対象に研修実施に努めました。
- ・39件中、大阪府関係3件、大阪府社会福祉協議会関係3件、大阪知的障害者福祉協会関係1件、豊中市関係4件、利用者支援関係21件、防災2件、法人関係3件、その他1件となっています。

期 日	研 修 名 等	主 催	場所／会場	参加者
5. 12	特定給食施設研修	豊中市保健所	中部 保健センター	友廣
5. 28 他5日間	自閉症支援基礎編	自閉症eサービス	西宮総合福祉 センター	高橋
5. 29 他2日間	対人援助専門職講座	大阪府 社会福祉協議会	大阪社会福祉 会館	隅倉
6. 5	感染症・食中毒予防対策講習	福祉と人権の研修ネ ットワーク大阪	吹田市文化会 館	池上
6. 13	自閉症eサービス 公開講座	自閉症eサービス	京都染織会館	高橋
6. 20	自閉症支援基礎―「評価から から支援支援へ」	自閉症eサービス	大阪社会福祉 指導センター	前多 藤井
7. 5	専門講座A初任者のための 実技講習	自閉症eサービス	b o n キッズ 谷町	高橋
7. 11 12	甲種防火管理講習	豊中市消防本部	市消防本部	富永
7. 22	栄養士・調理師講習会	大阪府 社会福祉協議会	大阪社会福祉 指導センター	友廣
8. 1 2	評価セミナーB (青年～成人期)	自閉症eサービス	b o n キッズ 谷町	高橋
8. 8	さをり織り指導養成講座	さをりひろば	S A O R I 会 館	隅倉
8. 18 25	スキルアップ講習	自閉症eサービス	b o n キッズ 谷町	高橋
8. 31	豊中市社協連絡会研修 (虐待防止)	豊中市社会福祉協議 会	すこやかプラ ザ	武内

9. 8 15	専門講座B実践家庭・ホーム の支援	自閉症eサービス	SKIP ひらかた	高橋
9. 9 10	施設間留学	豊中市施設長会	あすなろ (生活介護)	表
9. 11	法人全体研修会 「風通しが良い職場とは」	豊中親和会	第2みらい	20名
9. 24 他2日間	専門講座C行動障害ケース 検討	自閉症eサービス	b o nキッズ 谷町	高橋
10. 2	防火研修会	豊中防火安全協会	北消防署	橋川
10. 10 11	高機能自閉症ワーク	自閉症eサービス	b o nキッズ 谷町	高橋
10. 14 15	大阪府相談支援初任者研修	(社)大阪府 社会福祉事業団	国際障害者交 流センター	前田
10. 17	自閉症支援基礎— コミュニケーション	自閉症eサービス	大阪社会福祉 指導センター	隅倉
11. 11	感染症・食中毒予防対策講習	大阪府 社会福祉協議会	クレオ大阪	表
11. 26	自閉症支援基礎— 自立した生活	自閉症eサービス	西宮市総合福 祉センター	小橋
11. 28	自閉症支援基礎— 自立した生活	自閉症eサービス	ラポール枚方	隅倉
12. 2 9	虐待防止・権利擁護研修	大阪府	クレオ大阪	田村
12. 10 他3日間	自閉症ワークショップ	社会福祉法人一羊会	西宮市総合福 祉センター	田村 高橋
12. 11	法人全体研修会 「メンタルヘルス」	豊中親和会	第2みらい	18名
12. 17 他3日間	行動障害ケース検討②	自閉症eサービス	武庫川すずか け作業所	田村 高橋
1. 9 他3日間	発達障害連続講座	ななくさ学園	いたみいきい きプラザ	田村 高橋・武内
1. 24 25	2 d a y s テレリング セミナー	自閉症eサービス	サポートセン ター杉の子	田村 高橋

2. 1 0 他3日間	後期講習会	社会福祉法人いたみ 杉の子	サポートセン ター杉の子	関田 高橋
2. 2 0 2 1	TEECH コラボレーションセ ミナー	TEECH プログラム 研究会	京都染織会館	高橋
2. 2 3	相談支援の現状と課題	大阪知的障害者福祉 協会	茨木市福祉文 化会館	中村
2. 2 9	第2回人権研修会 「差別解消法」	社会福祉連絡会	豊中商工会議 所	田村
3. 1 8	サービス向上委員会勉強会 「福祉サービスの利用」	豊中親和会	第2みらい	6名
3. 1 8	「実践報告会」	豊中市立たちばな園	豊中市福祉会 館	中村
3. 2 0	成人期に向けて準備できる ことは何か 豊かな成人期 のために	川崎医療福祉大学 連携センター	川崎医療福祉 大学	高橋
3. 2 1	「実践報告会」	自閉症 e サービス	大阪社会福祉 指導センター	関田 高橋 前田
3. 2 1	自閉症支援のための診断・評 価ツール	自閉症 e サービス	サポートセン ター杉の子	田村

【会議等】

会 議 名	回 数	開催期日、構成員等
運営会議	1 2	毎月1回 (管理者・主任)
職員会議	1 2	毎月第1木曜日 (管理者、職員)
ケース会議	1 2	毎月第3木曜日 (管理者、職員)
リーダー会議	4 2	毎週水曜日 (管理者、主任、リーダー職員)
給食会議	1 2	毎月1回 (管理者、担当職員)

*その他

所属長会議 (管理者)、市内施設長会議 (管理者)

サービス向上委員会 (主任他)、家族会 6 回

「虐待防止の仕組みづくりの構築」検討委員会 8 回

「グループホームの運営手法」検討委員会 1 0 回